

大地を守る！

石原

倒してきた線虫の数に、
自信あり。

殺線虫剤

農林水産省登録 第20265号

ネマトリン[®]エース
粒剤

ネマトリンエース粒剤は、高品質な作物づくりをしっかりと支えます。

👑 優れた殺線虫効果

線虫と薬剤が接触することで線虫の活動を阻害し、殺線虫効果を発揮します。

👑 土壌条件に左右されにくい

土性の違いや処理後の土壌水分の変動による影響が少なく、安定した効果を示します。

👑 簡便な作業性

揮発性がなくガス抜き作業が不要のため、処理直後から播種や定植が可能です。



®は登録商標

■使用時のポイント(上手な使い方)

- Point 1** 手で握ってくずれない程度の土壌水分を目安とする。過湿や過乾燥は効果不足や薬害の原因となる。
- Point 2** 定植(は種)前に、土壌全面に均一に散布する。散布ムラは効果の不安定や薬害の原因となる。
- Point 3** 散布後、表層から20cm程度の深さまでムラがないように、丁寧に土壌と混和する。土壌中の線虫は地表面から10~20cmの層に多く分布している。
- Point 4** 効果をより長く持続させるために、なるべく定植(は種)に近い時期に散布する。

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ホスチアゼートを含む 農薬の総使用回数	
いちじく		20kg	収穫60日前まで	1回	樹冠下処理	1回	
かんしょ	ネコブセンチュウ	15~20kg	植付前		作条土壌混和	2回以内 (苗床は1回以内、 本圃は1回以内)	
		10~30kg	苗床植付前				
ばれいしょ	アブラムシ類 ネコブセンチュウ	20~30kg	植付前		全面土壌混和	1回	
	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	20kg					
やまのいも やまのいも(むかご)	ネコブセンチュウ	20kg	定植前		全面土壌混和	1回	
葉しょうが さやえんどう パセリ							
さといも	ネグサレセンチュウ	25kg	定植前				
こんにやく	ネコブセンチュウ						
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20kg	定植7日前まで				
オクラ、みつば	ネコブセンチュウ		は種前				
とうがん しろすり			定植前 但し、収穫45日前まで				
ズッキーニ(花)			定植前 但し、収穫21日前まで				
ズッキーニ かぼちゃ		定植前					
きゅうり にがうり		は種前又は定植前					
すいか、メロン トマト、ミニトマト ピーマン		15~20kg	定植前				2回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 土壌灌注は1回以内)
なす	ハダニ類 ミナミキイロアザミウマ オンシツコナジラミ	20kg	定植前				1回
いちご	ハダニ類	25kg	は種前				
	ネグサレセンチュウ	20~25kg					
だいこん	ネコブセンチュウ	15~20kg	は種前				
	ネグサレセンチュウ	20kg					
にんじん	ネコブセンチュウ	15~20kg	は種前				
	ネグサレセンチュウ	20kg					
ごぼう	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20kg	は種前	は種満土壌混和			
らっきょう	ネダニ ネグサレセンチュウ	15kg	定植前	植溝土壌混和			
にんにく	イモグサレセンチュウ	25kg	植付前	全面土壌混和	3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 球根浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内)		
しょうが	ネコブセンチュウ	20kg	定植前		2回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 土壌灌注は1回以内)		
					2回以内 (種根浸漬は1回以内、 定植前の土壌混和は1回以内)		
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)			は種前		1回		
あずき	ダイズシストセンチュウ	25kg	植付前		2回以内		
ガーベラ	ネコブセンチュウ						
カーネーション	クローバーシストセンチュウ	20~25kg	植付前		3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 生育期の根鉢浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内)		
すずらん	ネグサレセンチュウ	20kg	定植前		1回		
きく	ナミハダニ						
ぼたん	ネコブセンチュウ	20kg	定植前		2回以内		
つつじ類	イシクセンチュウ				3回以内 (定植前の土壌混和は1回以内、 生育期の根鉢浸漬は1回以内、 土壌灌注は1回以内)		
					1回		

△効果・薬害等の注意事項

- いちじく、ごぼう、らっきょう以外の作物に使用する場合は、所定量の薬剤を圃場全面に均一に散布し、土壌中に均等に分布するようによく混和してください。
- いちじくに使用する場合は、樹冠下全面に処理し、栽培様式からみて可能であれば土壌混和してください。
- 散布が不均一だったり、混和が不十分だと効果不足や薬害を生じることがあるので注意してください。
- 作物によっては、定植時展開葉に軽微な薬害を生じることがありますが、その後の展開葉および生育には特に影響はありません。
- 間引き菜、つまみ菜には使用しないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意事項

- 本剤の解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにしてください。
- 保管:密封し、直射日光を避け、食品と区別して涼涼・乾燥した所に保管してください。

※いちごの高設栽培等では、全面土壌混和が出来ないので使用しないでください。

本印刷物は、2022年5月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
 ホームページ アドレス <https://ibj.iskweb.co.jp>

ホームページの
製品情報▼

取り扱い